

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伊那路・木曽路広域連携周遊商品造成事業
事業主体 (連絡先)	伊那路木曽路広域観光連携会議 令和3年度担当 木曽観光連盟 木曽郡木曽町日義 4898-37
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,231,540 円 (うち支援金：1,785,000 円)

事業内容

長野県が推進する「リニアバレー構想実現プラン基本方針」により、今後広域DMOや観光協会、観光機構、市町村が連携し、滞在型観光コンテンツづくりや受入環境整備を進めていく必要があることから、3地域が連携してそれぞれのエリアを繋ぐモデルコース造成に取り組み、海外の旅行商品取扱事業者が集まる商談会等で新たに造成したコンテンツ及びモデルコースを紹介・販売を実施。

- ・3地域連携コース造成ワークショップ 4回開催
- ・3地域連携相互研修 3回開催
- ・コンテンツ・タリフ集リーフレット作成
- ・商談会への参加

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①商談会では海外旅行社 36社との商談ができ、木曽を含めた3地域の魅力を商品を通して伝えることができた。
- ②旅行商品 21コースをまとまりリーフレットが作成され、今後も国内、国外を問わず商品紹介、販売へ結びつける基礎資料ができた。
- ③3地域の観光関係者が7回にわたる研修会を通じて、相互の観光コンテンツを知り、自地域との連携で観光客等へ紹介をする知識を得ることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

インバウンドでの観光客の誘客に向けて、各地域では広域的な連携を深めており、当会にあっても、3地域の魅力を最大限に発揮できる商品造成、商品販売を行う必要がある。

商談会ではまずは地域の魅力、特色を知っていただくことができたので、今後は選んでもらえる魅力ある商品への磨き上げが必要になる。

今後は海外の旅行社を招いてのファムツアー、在日外国人を対象としたモニターツアーを実施することで、魅力ある商品造成を図っていきたい。



【大平宿での相互研修の様子】

【目標・ねらい】

- ①3地域連携による魅力発信
- ②商談に向けた基礎資料づくり
- ③3地域観光関係者の連携づくり

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・商談会に向けた基礎となるリーフレット作成を、研修会を通じて3地域の関係者で作成できたことは次年度へ繋がる基礎固めができた。
- ・商談会等で36社へまずは魅力を伝えることができた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある